最近の調査研究から

当社の定期刊行物に掲載された論文を紹介するコーナー

農林金融2011年４月号

フランスの起業向けマイクロクレジット

（重頭ユカリ）

EUにおいてマイクロクレジットは、零細企業向け、または一般の銀行を利用しにくい人々が生産活動に従事したり、起業したりすることを助けるような25,000ユーロ以下の融資とされている。

EUにおけるマイクロクレジットの先駆者であるAdie（アディ）では、非識字者や定住地を持たない長期的失業者など社会的にみて非常に困難な状況にある人が零細企業を設立することを促進している。その業務においては、借り手の文化的な背景に合わせて保証人を徴求したり、融資前後にサポートをする等、きめ細かい対応を行っている。Adie自身が20年以上にわたる活動のなかで、マイクロクレジット機関への支援のための枠組みづくりを先導してきたことが、フランスでマイクロクレジットが盛んになった要因だと考えられる。

６次産業化の論理と基本課題

（室屋有宏）

６次産業化の成功例をみると、地域社会の人的資本、ソーシャルキャピタルといったソフトな資本が基盤になっていることが多い。他方、ソフトな資本の強みを生かすためには、販売や設備のための一定のハード投資も必要となるが、金融機関の既存スキームではうまく対応できていないことが６次産業化推進の大きなネックになっている。

農協にとって６次産業化の歴史的意義をよく認識し推進していくことで、地域と農業を同時に振興できるメリットは大きい。生産者に限らず「地域に農業がある」ことの利益を地域全体で共有し６次産業化を広げていくことは、農村から日本社会全体のあり方を組み替えていくインパクトがあると考えられる。

農林金融2011年５月号

地域銀行における格付付与の状況について

（矢島　格）

格付が地域銀行にとって市場規律として機能しているか否かについて実証的な分析を行い、次のような示唆が得られた。

①依頼格付の付与数は、競争が厳しい環境にある地域銀行ほど多く、財務状態が良好な地域銀行ほど多いことが確認でき、依頼格付は市場規律として一定程度機能している可能性が示された。

②上記①の可能性は、日系格付会社から依頼格付を付与された場合よりも非日系格付会社から依頼格付を付与された場合の方が強いことが一定の範囲で示された。

③市場規律の観点から、非依頼格付の存在意義について積極的な評価を与えることはできなかった。

地域銀行におけるクレジットカード業務の変遷

（岡山正雄）

2000年代に入って、地域銀行ではクレジットカードとキャッシュカードの機能が１枚に集約された一体型カードの発行と、両機能を銀行本体から提供する本体発行が進んだ。

この背景には地域銀行が新たな個人リテール戦略を模索するなかで、クレジットカードが顧客囲い込みに資すると考えられたことや、クレジットカード業界の成長が著しく、規制緩和も進んだことが挙げられる。

一体型カードの発行は2000年代前半に進んだものの、2000年代後半から始まった本体発行は、さほど拡大していない。今後浸透していくか否かはコスト面等の課題をどう解決するかにかかっているが、改正貸金業法の全面施行が本体発行への追い風となる状況も考えられる。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。

最近の調査研究から

当社の定期刊行物に掲載された論文を紹介するコーナー

その他の研究成果（情勢）

農林金融2011年４月号

・米戸別所得補償モデル事業の動向（藤野信之）

はじめに
1　モデル事業の概要と問題点
2　米価・生産費の推移と定額部分の効果
3　規模別生産費・経営収支とモデル事業の関係
4　地域別生産費・平均経常収支とモデル事業の関係
5　今後の展望と課題

農林金融2011年５月号

・米国債市場の動向（田口さつき）

はじめに
1　米国債残高の推移と今後の見通し
2　投資家としてFRB
3　FRBの米国債購入の背景
4　FRBの今後の動向
5　中国勢の動向
おわりに

農林金融2011年５月号

顧客構造の分析と情報活用

（渡部喜智）

金融機関は多様な顧客を有する。従って市場戦略を練る上で、顧客の諸属性に関する情報を分析し顧客像を明確にすることは欠かせない。この「顧客プロファイリング」という作業と情報を基に、顧客をセグメント化するとともに、階層等に応じたニーズに沿い推進を実施することが重要となる。

たとえば、顧客に占める構成比率は大きいが金融資産の小さいマス層と、金融資産の大きな富裕層を分け、異なるアプローチとサービスを供給することが求められる。

さらに、EBMやプラットフォーム戦略など顧客情報を活用したデータベース・マーケティングの進展も見られている。しかし、現状は個人単位にとどまるところも多く、家計単位でのデータベース・マーケティングの展開は課題として残る。

金融市場

2011年４月号

特別レポート
東北地方太平洋沖地震の日本経済への影響

情勢判断
1　電力不足問題に直面する日本経済
2　金融市場はQE2後に注目

今月の焦点
ドイツ、アイルランドの選挙結果とその注目点

分析レポート
1　経営改革成果を顧客サービス向上に向ける第四銀行
2　時代の変化に柔軟なリテール戦略で臨む北國銀行
3　個人向け国債の商品性見直しをめぐる動向
4　過剰流動性の発生と中国人民銀行の対応

連載
1　経済指標の窓　海外経済指標
①非農業者部門雇用者数（Nonfarm Payrolls）
2　経済金融用語の基礎知識
原油先物価格　WTI

海外の話題
アメリカの金融緩和策の副作用

2011年５月号

情勢判断
1　年度上期中の国内景気は停滞気味に推移
2　2011～12年度経済見通し（地震後の改訂）

情勢判断（海外経済金融）
1　米国の早期金融引き締め観測はやや後退
2　2011年１～３月期の中国経済情勢

今月の焦点
復興税問題を考える

分析レポート
1　東日本大震災の被災地における地域金融機関の対応
2　地域ニーズに応え様々な活動を展開する山陰合同銀行
3　地域銀行のカードローンの特徴と課題
4　否定できないギリシャ国債の債務再編の可能性

連載
1　経済指標の窓　海外経済指標
②ユーロ圏消費者物価指数
2　経済金融用語の基礎知識
天然ガス市場の価格メカニズム

海外の話題
賭けるに足る「未来」

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。